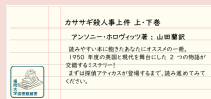


司書おすすめの本

図書館スタッフが選んだイチオシの本たちです。ふだん読まないジャンルの本も、これを機会に手に取ってみてはいかがでしょうか？



カードをクリックすると
図書の詳細画面(蔵書検索)が開きます。



		カササギ殺人事件 上・下巻
		アンソニー・ホロヴィッツ著；山田蘭訳
		読みやすい本に飽きたあなたにオススメの一冊。 1950 年度の英国と現代を舞台にした 2 つの物語が 交錯するミステリー！ まずは探偵アティカスが登場するまで、読み進めてみて ください。
		

		世にも美しき数学者たちの日常
		二宮敦人著
		大学の先生から数学マニアまでインタビューを通して、数 学を受する数学者たちの思考を覗き見ることができます。数 学が好きな人はもちろん、数学を敬遠する人にも難しくなく 読みやすいのでぜひ読んでみてください。数字に美しさを求 め、難解な問題を解き続ける意味とは？数学の奥深さがわ かります。
		

		ぼく モグラ キツネ 馬
		チャーリー・マッケジー著；川村元気訳
		2021 年にベストセラーになった本。まえがきに「この 本はだれでも楽しめる。あなたが 8 歳でも 80 歳でも」と あるように、今でも書店では絵本のコーナーにも単行本 のコーナーにも並んでいる。 ★”いちばん強かったのはいる？” ”弱みをみせることができたとき” ★”たすけを求めることは、あきらめるのとはちがう” ”あきらめないために、そうするんだ”
		

		ヘルシンキ生活の練習
		朴沙羅著
		北欧は幸福度が高いとか、教育が素晴らしいとか、日本 の良きお手本として例に出されることが多いですが、日 本のために存在しているわけではない、と著者は言いま す。確かに！小さい子ども二人を抱えて京都からえいっと フィンランドに移住した著者の北欧礼賛ではない生活記 です。関西弁のツッコミが笑える！
		

		酒をやめられない文学研究者とタバコをやめられない精神科医が本気で語り明かした依存症の話
		松本俊彦、横道誠著
		文学者のマコトと精神科医のトシが依存症について往復 書簡の形で語られます。とってもすごく赤裸々な内容に驚 きつつ、読みやすく面白さもあり、日本の依存問題から宗教 についても考えさせられる本です。ヘイ、トシ！、ヘイ、マコト、 とお互いに呼び合うという語り出しも楽し気です。この本を 読んで、さらにお二人の他の本を読むとまた理解が深まりそ うです。
		

		アルケミスト：夢を旅した少年
		パウロ・コエーリョ [著]； 山川紘矢, 山川亜希子訳
		ワクワクする冒険譚として読むのもよし。異国の物語 として読むのもよし。ファンタジー、昔話として読むのもよ し。そして哲学書としても読めるかも…どんあふうに読ん でも楽しめるおススメの一冊！ 作者パウロ・コエーリョはブラジルの人気作家。原著 はポルトガル語。この機会を逃したらブラジル人作家の 作品を読む機会はないかも。ブラジル産コーヒーを飲み ながら読んでみては？
		

		休むヒント。
		群像編集部編
		私はアンソロジーが好きだ。たくさんの人の文章を一度 に味わえるから。 ちなみに私がこの本がきっかけで「もっと読みたい！」 と思った作家は、古賀及子、竹田ダニエル、永井玲衣。あ なたは誰を追いかける？ 最後に…もちろん「休みヒント」が満載の本です。
		

		本棚
		ヒヨコ舎編
		この本の本棚の写真を見て「世の中にはこんなに私の知 らない本があるんだー!!」が正直な感想だった。写真集とし ても、ブックガイドとしても、エッセイとしても手軽に楽しめる 一冊。本選びに迷ったときはこんな本からヒントを得るのも いいかも。みなさんの先輩が選書ツアーで選んだ本。 ちなみに私はこの本を読んで尾崎翠を読んでみようと思っ た。誰と誰の本棚にあったか、あなたも探してみて！
		

		ガザとは何か パレスチナを知るための緊急講義
		岡真理著
		6 万 7 千人。ガザでの死者数。15 分に 1 人が死亡。4 万 2 千人。ガザでの負傷者。うち 1/4 が子ども。50 万人以上、ガザ で飢餓に苦しむ人。住民の 1/4 以上。(2025 年初旬テレビ報 道より) この本は 2023 年 12 月 31 日発行。同年京都大学と早稲 田大学で、市民や学生有志が企画した講演会の内容を緊急出 版したものである。 著者は世界のメディアはこの問題のごく限られた一部分し か報じていないと断じている。わたしたちは本書を読み、ガザを 正しく知ることから始める必要があると強く強く感じた。 地獄とは、人々が苦しんでいるところのことではない。人が苦 しんでいるのを誰も見ようとしなくていいところのことだ。(マンスール アル=ハッタージュの言葉 本書より)
		

		「読む」って、どんなこと？
		高橋源一郎著
		この展示でも「本」を勧め、「本を読むこと」を勧めてい る。ところで「読むってどんなこと？ってちゃんと考えたこと はあったらどうか？そんな問いに 1〜6 時間目までの授業 形式で応えてくれる本。3,4 時間目で取り上げられた文 章はかなり刺激的。そして 6 時間目で深く深く考えさせら れる。筆者は何のために読むと言っているのか。わずか 116 ページ。読んで確認して欲しい。
		

		あらゆることは今起こる
		柴崎友香著
		ADHD (注意欠如多動症) の診断を受けた小説家が、小さ いころから今に至るまでの困りごと、そしてそれにどう対処 し、対処できなかったかをつづったエッセイです。困りごとを を通して、「社会人」なら、「女性」なら、「普通」なら、できて たり前というプレッシャーの多さに気づかされます。困ってい る人の内側を知ることとは、自分の困ったことを理解する手助 けにもなります。この本を読むことで、ちょっと気持ちが楽に なるかもしれません。
		



[illegible]

	フィフティ・ピーブル チョン・セラン著；斎藤真理子訳 著者が「あとがき」で告白しているように実は 51 の物語。 「何ももらえず搾取されるばかりの自分の世代の声を代弁したい」と常々思っている著者が韓国で実際に起きた事件や事故を舞台や背景として描いた小説。でも暗くなくむしろ明るく優しく、日本にいる私たち一人一人の胸にも届く。	
		

	対話号 (モンキービジネス ; vol.5 (2009Spring)) あの柴田元幸が毎号全力で作っていたという「モンキービジネス」。本号は「対話号」ということで、村上春樹のロングインタビュー、川上弘美、小川洋子の対談他翻訳4篇と小品が満載されている。 本号にはほかに「野球号」、「眠り号」、「少年少女号」、「箱号」ほかにも所載している。 翻訳、外国語に興味がある方、文学好きの方、ぜひ手に取ってみて!
--	---

[illegible]

	キッチン 吉本ばなな著 私はこの小説を 1980 年代に初版で読んだ。今ではこの世界観に似た物語もあるが、当時は衝撃を受けた。 吉本の『第一芸人文芸部』の吉本ばなな好きメンバー全員が「最初に読んだばなな作品は『キッチン』!」と言っていた。あなたもこの本で『ばななワールド』の扉を開けてみては?
--	--

	八月の銀の雪	
	伊与原新著	
 福岡大学 図書館蔵書	フィクションは苦手、小説は読んだことがない、という君にもおススメ。優しく心を癒してくれる 5 篇が収められている。地球の中心、生花、気象予報等、全ての物語に科学が重要なモチーフとして描かれていて、理系の君（もちろん文系のあなた）にも楽しめる一冊となっている。直木賞及び山本周五郎賞候補として本屋大賞と折り紙つきの小説。	

	世界と私の A to Z
	竹田ダニエル著 1997年生まれカリフォルニア在住の著者が2020~22年に雑誌に連載したものをまとめた一冊。アメリカの Z 世代の情報にシェアすることで『読んだ人にとってなんらかの希望や』『世界が広がるきっかけになれば』『おわりに』に記されている。アメリカの Z 世代が悩みながらも社会問題に関心を持ち、行動していることを知った。 福大生にも読んで感じて行動してほしいと思う。 ★戦い続けるために自分を愛する(本文より)

[illegible][illegible][illegible]

[illegible]

黄泥街

残雪著；近藤直子訳

読んでいる最中もわけがわからず、読んだ後もわけがわからない奇妙な物語です。

文中には糞また糞、もちろん多くの人が苦手とするあの黒光りする虫も登場します。

動物はもれなく狂い、人は死んだり生き返ったりします。

ただ、この物語がしばらく頭から離れず、一体何を読んだのか、夢の中の出来事がわからなくなるような、不思議な読書体験がてきる小説です。



福岡大学図書館蔵書



		美しい日本の私：その序説
		川端康成著 ；エドワード・G・サイデNSTEKKER英訳
		雲を出でて我にともなふ冬の月 風や身にしむ雪や冷たさ ノーベル賞作家・川端康成が記号を求められた際に書くとい う明恵上人の歌。 本書では、道元、良寛、一休、西行等々の歌を挙げながら、そ こにあくあばた自身の美意識や死生観を書き記している。 後半はサイデNSTEKKERによる英訳。日本の和歌と川端の 美しい文章が英語でどのように表現されているのかも知ることがで きる！冊となっている。
		

		歳月
		茨木のり子 [著]
		詩人没後に刊行された最後の詩集です。「照れくさい から」生前には出版されなかったことがよくわかる、とても 熱い愛の言葉が並んでいます。詩は難しいかも、と敬遠 してきた方におすすめです。
		

		グリオ爺さん
		バルザック著；中村佳子訳
		コーヒーをがぶ飲みしながら小説を執筆していたことで有 名な、19世紀フランスの 文豪バルザックの小説です。19世紀パリの話なので、最 初はその舞台に慣れるまで 時間がかかるかもしれませんが、慣れると癖強い登場人物 達から目が離せなくなり、 加速度的に面白くなっていきます。 私は岩波文庫で読みましたが、読みやすいとされる新訳で どうぞ。
		

		世界でいちばん透きとおった物語
		杉井光著
		読み終わったあと、タイトルの意味が分かり余韻に浸り ました。 僕の父は妻帯者にもかかわらず、多くの女性と交際し ていた。 そんな父は「世界でいちばん透きとおった物語」という 遺稿を残していた。 腹違いの長男からの連絡で、遺稿探しに参加すること になった僕であったが… 物語はどこへ？父はどんな物語を残していたのか？予 測不能の結末に、読み進める手が止まらない。
		

		女の国会
		新川帆立著
		令和7年10月21日。第104代内閣総理大臣とし て高市早苗が指名される。初の女性首相の誕生である。 さて、こちらは小説「女の国会」。なんとタイムリーなタ イトル。 397ページを私は一気に読みました。犯人探しのドキドキ はもちろん、政治、選挙、ジェンダー問題を考えるきっかけ になるかも。 薬学部分室の本なので、「予約・取寄せ」サービスを利用してください。
		

		タルト・タタンの夢
		近藤史恵著
		ホットワインのようなほっとするミステリーはいかがです か？ 下町の小さなフレンチ・レストラン「ビストロ・パ・マル」を訪 れる空腹とちょっとした謎を抱えたお客様を、 三舟シェフがおいしい料理と優しい謎解きでもてなしてく れます。 読後にあたたかい余韻が残る冬におすすめのシリーズで す。
		

		王とサーカス
		米澤穂信著
		フリーの記者が取材で訪れていたネパールで王族殺人 事件が発生する。 事件を記事にしよう取材を始めた矢先、殺人事件に 遭遇してしまい… 真実の受け止め方が人の置かれた環境によっていかに 異なるかを深く考えられる作品です。
		

		翻訳できない世界のことは
		エラ・フランシス・サンダース著イラスト；前田まゆみ訳
		翻訳ではその独特なニュアンスを表現しづらいことばたち が美しいイラストと共に紹介されています。世界のことはに は、まだまだ未知なる魅力が溢れていることに気づかせて くれる一冊。「フィカ」や「カフネ」などその後のブームで 日本語として馴染んできたことばも載っています。リラック スタイムにおすすめです、あなたのお気に入りのをぜひ見つ けてみてください！
		

		解きたくなる数学
		佐藤雅彦、大島遼、廣瀬隼也著
		絵や写真を使ったクイズを解いていくだけで、自然と論 理的な考え方が身に付くかもしれません。 数学に苦手意識がある人にこそ、ぜひ読んで欲しい一 冊です。
		

		笑うマトリョーシカ
		早見和真著
		この作品は、得体のしれない政治家「清家一郎」の正 体を追う形で物語が展開していく。 その正体が明らかになったとき、実際にこんな思想の政 治家がいるのではないかと想像して恐ろしくなりました。
		

		パーク・ライフ
		吉田修一著
		『国宝』の著者、吉田修一の初期の作品。 短い小説ながら、景色や表情、心の揺れを、追体験させ てくれるような著者の才能を堪能できます。
		

		夕暮れに夜明けの歌を
		奈倉有里著
		語学や文学を学ぶことにもランナーズ・ハイのような状 態が訪れるようです。「文字がカッコいいから」ロシア語 を学び始めた著者が、留学してロシア文学に打ち込み、 卒論を書き上げるまでの日々は数々の障害はあれど、多 幸感に満ちています。語学や文学を学ぶ人、あるいは留 学を考えている人におすすめです。
		

